

1 PLAN(目的・概要)

建設整備事業

政策名	安全	27年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 維持管理推進担当課長	
施策名	港の安全性・信頼性の向上	成果	コスト				
事務事業名	港湾施設等の維持補修	継続	維持	維持	連絡先 連携課	052-384-4821 <small>財政課、港管課、管財課、管理課、事業担当 他</small>	
目的	対象(誰・何を)	維持管理計画を作成した本組合が所有・管理する施設				事業 期間	～継続 (平成28年度～)
	意図(どうい う状態にしたいか)	維持補修コストを低減し、予算を平準化しながら、必要な性能、機能を回復させます。					
概要	港湾施設等アセットマネジメント推進計画に基づき、港湾施設等の補修を計画的に進めることにより港湾施設等の維持補修コストを低減し、予算を平準化しながら、必要な機能、安全性を確保し、長寿命化を図ります。				根拠 法令等		
28年度の実施予定	港湾施設等アセットマネジメント推進計画に基づき、補修を行っていきます。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
					関連 シート		

2 DO(実施)

28年度に実施した 内容・結果	港湾施設等アセットマネジメント推進計画に基づき、目標値より多くの箇所での施設の補修を行いました。					
コスト	単位	26年度	27年度	28年度	合計(平成28年度～)	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	111,226	445,674	1,839,729	1,839,729	平成26・27年度事業費、人件費は、旧シート「港湾施設等アセットマネジメントの推進」との合計額
人件費	千円	34,620	35,381	35,836	35,836	
合計	千円	145,846	481,055	1,875,565	1,875,565	

3 CHECK(検証)

指標名		26年度	27年度	28年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
港湾施設等アセットマネジメント推進計画に基づく 補修施設数(箇所) (進行管理型)	目標	-	-	55	165(累計)		平成28年度から平成37年度までに補修の必要な施設数550箇所のうち、単年度あたりに必要な補修施設数(計算式:550÷10=55)	
	実績	-	-	57				
	事業進捗状況(28年度)			順調	やや遅れ・遅れ			
	目標							
	実績							
	事業進捗状況(28年度)							
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	計画に基づいて順調に補修を進めました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	<input type="radio"/> 港湾施設等の老朽化が急速に進んでいるため、厳しい財政状況の中で安全性、利便性の確保と長寿命化を図るには、施設の性能を維持する上で必要な補修を行っていく必要があります。						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	<input type="radio"/>						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	<input type="radio"/> 港湾施設等アセットマネジメント推進計画に基づいた補修を推進することは、上位施策である「港の安全性・信頼性の向上」に資すると考えています。						
	期待どおりの成果が得られているか?	<input type="radio"/>						
効率性	最小のコストとなっているか?	<input type="radio"/> 補修にあたっては、必要最小限のコストで施設の延命化を図る対応を行っております。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	29年度以降の方向性			判断理由
		成果	コスト	
	継続	維持	維持	港湾施設等の適切な維持補修により、施設の安全性確保や延命化を着実に進めていく必要があるため。
		取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題				29年度以降の取組
港湾施設等アセットマネジメント推進計画に基づき、計画的な維持補修に努め、施設の長寿命化を図る必要があります。		港湾施設等アセットマネジメント推進計画に基づき、引き続き、平成37年度まで集中的に補修を進めていきます。		